

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
領域開拓プログラム最終評価結果表

課題	情報メディア発展のもとでの新しい地域研究
研究テーマ名	エネルギー政策・言説の日独地域比較
研究代表者	タック川崎レスリー
所属機関・部局・職	筑波大学・人文社会系・准教授
研究成果の総合評点：B	
研究成果に係る所見	
<p>日独における原子力発電に関わる政策の相違について、体系的な比較分析を試みた研究であり、日本での社会調査など一定の成果をあげた点は評価できる。一方で、ドイツにおける研究が計画どおり進展しなかったためか、最終的に当初目的とされた両国の原発政策に関する相違の背景について、学際的な視点から十分に示唆されるまでには至らなかったと考えられる。特に採択時に求められたエネルギー問題・政策の専門家の参画が実現されておらず、異分野の研究者との連携が有効に図れなかったようであり、共同研究としての成果発表がないのが残念に思われる。その研究内容からして、今後、日本語による成果発表も望まれるところである。研究費の使用について、当初計画とは異なった使用となっている。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い